

九州がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
長崎大学 記念講演会
平成29年2月8日（水）18：30
長崎大学医学部 良順会館1階専斎ホール



開会の辞

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 下川功研究科長

研究課題発表

座長 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔腫瘍治療学分野教授 梅田正博



「肺癌に対する定位放射線治療：病理確定群と臨床診断群の比較」

医療科学専攻 臨床腫瘍学 中村太祐



「長崎県における離島・僻地医療～五島中央病院実習を通して」
医療科学専攻・口腔腫瘍治療学 品川兼一

座長 保健学専攻・看護実践科学 楠葉洋子教授



「アサン医療センター訪問研修報告」
医療科学専攻 臨床腫瘍学 佐々木龍



「分子標的薬治療患者における皮膚障害と角膜水分量・栄養状態の関連」
保健学専攻・看護実践科学 大畑直子

特別講演

座長：医療科学専攻・薬物治療学 塚元和弘教授



「がん医療人材養成にがんプロの果たしてきた役割」

大阪大学大学院医学研究科保健学専攻特任教授 松浦成昭教授



閉会の辞 医療科学専攻・臨床腫瘍学 芦澤和人教授



医師、歯科医師、看護師など約40名の方にご参加いただきました。医療科学専攻、保健学専攻の大学院生の研究発表、アサン医療センター訪問研修報告、長崎のがんプロ学生の特徴の一つである「離島・僻地医療実習報告」いずれも内容の深いもので、発表後に活発な議論もなされました。

松浦先生の特別講演では、これまで10年のがんプロの取り組みと変遷が改めて理解でき、かつ今後の目指すべき道筋を教えていただき、大変勉強になりました。松浦成昭先生、発表してくれたがんプロ大学院生の皆様、ご参加頂いた皆様、ご協力頂いた関係者の皆様に深くお礼申し上げます。

(記 医療科学専攻・臨床腫瘍学 林 秀行)